

山口県の植物さんぽ(7)

春から初夏の長野山(周南市)編



「ほっとやまはく」 タイム⑥



今回は、周南市(島根県との県境付近)にある長野山で、春から初夏にかけて見られる植物を紹介します。長野山は、標高1015mほどありますが、頂上近くまで車で上がることができるので、しかも頂上付近が公園(長野山緑地公園)になっているので、宿泊施設、カフェ、トイレなど(すべて冬期休業なので要注意)があり、植物さんぽにはとてもありがたい場所です。1000mを超す山頂の近くまで車で行かれて、子どもから高齢者まで景色や自然などを気楽に楽しめる場所はそのようなのではないのでしょうか。少なくとも県内では他にありません。それでは、そんな長野山の春から初夏の「植物さんぽ」をお楽しみください。(長野山付近の道は狭い所が多いので、ご注意ください)

シャクナゲ

(石楠花・石南花)

長野山を代表する植物の一つともいえるシャクナゲ。周南市に合併する前の長野山の所在地であった旧都濃郡鹿野町の町花がシャクナゲでした。シャクナゲはツツジ科の植物で、野生でもいろいろな変種がありますが、園芸植物としても親しまれています。鹿野支所近くにある天神山公園でも見ることができます。花は、長野山で

は5月の中旬によく見られます。

イワカガミ

(岩鏡)

その名の通り、岩場に生え、葉に光沢があるイワウメ科の植物です。日本各地の林内の岩場や草地に生える常緑の多年草で、茎は短く、地面近くで分枝します。葉は革のような光沢があり、長い柄があるのが特徴です。花は、長野山では5月ごろによく見られます。

チゴユリ

(稚児百合)

その名の通り、とても小さなユリのように見え、花も下を向いているのでうつむいているようです。チゴというのは、小さなかわいい子どもという意味ですが、まさにそれを実感します。小さいので気付かずに踏みつけてしまわないように注意しましょう。かつてはユリ科でしたが、現在ではイヌサフラン科に分類されています。花は、長野山では5月ごろに多く見られます。

ササユリ

(笹百合)

ユリ科の植物で、葉の感じがササに似ているからササユリ。本州の中部地方より西、四国や九州の山地に生え、直径10cmぐらいの大きく、ややピンク色の花を咲かせます。花は、長野山では6月ごろに多く見られます。シャクナゲと同じく、鹿野支所近くの天神山公園でも見ることがで



シャクナゲ



イワカガミ



チゴユリ



ササユリ

きます。

今回は、周南市長野山の植物を紹介しました。このような貴重な植物やすごい、おもしろい、ふしぎな植物が山口県内やその周辺にもたくさんあります。当館で開催している企画展「やまぐち植物さんぽ【I】」植物ってすごい、おもしろい、ふしぎ!」では、こうした県内や周辺地域の貴重なすごい植物を、それぞれの地域の美しい景観とともに紹介します。日本を代表する植物学者の一人である牧野富太郎博士などが作製した明治時代の貴重な植物標本や沖縄と世界の面白い、不思議な植物の果実や種子なども展示します。会期は6月16日(日)まで。子どもから高齢の方まで、画像や映像だけでも楽しめますので、県内各地の「植物さんぽ」のついでに、当館にもぜひお立ち寄りください。

杉江喜寿(学芸課主任)
▽次回は15日です。

山口県立山口博物館
TEL083-922-0294
月曜休館(祝日の場合は翌日)。最新情報はホームページで。

